

Wilcomm/400 Ver.8.03 & Wilcomm 5

Training Manual Lerron 2

ウィルコムの起動と停止

Manual No - TRN062

WilComm V8.03 & 5 © Copyright 2017 株式会社フェアディンカム

目次

ホストのウィルコム起動方法	4
ホストのウィルコム停止方法1	1
PC Server のウィルコム起動と停止 1	16
PC Server のウィルコム起動方法	21
PC Server のウィルコム停止方法	24

改訂履歴

日にち	改訂內容
2019/10/16	全体的なレイアウト変更
2021/5/21	コンパイル時の注意点を追記
2023/10/17	SNDMSGコマンドでのメッセージ送信先を*SYSOPR に変更

不明点等がございましたら下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

株式会社フェアディンカム

(WilComm サポートデスク)

メール <u>wilcomm@fairdinkum.co.jp</u>

電話 03-5809-3727

本解説書は、ウィルコム「WilComm/400 Ver8.03 & PC WilComm 5」を初めてお使いになるシス テム管理者向けトレーニング・マニュアルです。

Lesson-2 では、ホスト(IBM i, iSeries, AS/400)及び PC サーバーにおけるウィルコムの起動方法 と停止方法について解説しています。

(目的)

- 1. ホスト側ウィルコムの起動/停止ができるようになる。
- 2. PC サーバー側ウィルコムの起動条件を理解する。
- 3. PC サーバー側ウィルコムの起動/停止ができるようになる。

1.ホストのウィルコム起動方法

QSECOFR でサインオンして、<u>GO W</u> を実行します。

❷】 セッション A − [24 × 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アケション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
MAIN AS/400 メイン・メニュー	PGE1D4CD
- 次の中から1つを選んでください。	2021D40D
 ユーザー・タスク オフィス・タスク 汎用システム・タスク 汎用システム・タスク ファイル、ライブラリー、およびフォルダー プログラミング 通信 システムの定義または変更 問題処理 メニューの表示 情報援助オプション クライアント・アクセス /400 タスク 	
90、サイン・オフ	
選択項目またはコマンド ━━> <u>GO W</u>	
F3= 終了 F4=ブロンブト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13= 情報授助 F23= 初期 メーュー の設定	h
(C) COPYRIGHT IBM CORP. 1980, 2000.	00/014
	20/011

WilComm メインメニューから[60:WILCOMM ADMINISTRATION MENU] を選択します。 ([60]は次ページキーで表示されます。)

^ਡ ਊセッション A − [24 × 80]	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アケション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
MANUUUIUI WILCUMMA スプールファイル配布管理システム システム:	S651B4CB
次の中から1つを選んでください。	
1、新規メッセージの作成 2、メッセージ・リストの表示 3、ディレクトリー昭会	
4、ディレクトリー・ダンテナンス 5、WILCOMM ユーザーへの AS/400 メッセージ送信	
0. 世外時間 7. クイック・メッセージ表示 8. クイック送信	
11、ウィルスプール・ユーティリティ	
40. ウィルゴム OUTQ インターセプター・メニュー	
50、スプールファイル・インターフェース・メニュー	練く
選択項目またはコマンド →> 60	and C CCC
F3= 終了 F4=ブロンブト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=コーザーサボ F16=AS/400 メイン・メニュー	
(C) COPYRIGHT WILKINSON ELECTRONIC DOCUMENT SOLUTIONS PTY LTD. VS	N 8.03
	21/009
1917 1902 - セッソョンが止帯に開始されました	

[18:モニター開始]を選択します。

3 セッション A - [24 × 80] _ D × ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アウション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 🖻 🗈 🗗 🚛 🖬 🔳 📾 Խ 💩 💩 🎒 🌰 🤗 WILCOMM ADMINISTRATION MENU システム: S651B4CB メッセージ・プレフィックス・メンテナンス ユーザー・プロファイル・メンテナンス システム設定メンテナンス 11. 13. 14. メッセー 16. WILCOMM SYSTEM STATUS MANAGEMENT 17.18. モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILCOMM) モニター停止 (SUBSYSTEM WILCOMM) WILCOMM エディター・特別機能メンテナン 世界時計メンテナンス 検索テーブル・メンテナンス 21. 23. 24. WILCOMM ファイルの再構成 続く ... 選択項目またはコマンド 18 (C) COPYRIGHT WILKINSON ELECTRONIC DOCUMENT SOLUTIONS PTY LTD. VSN 8.0321/009 副 1902 - セッションが正常に開始されました

ウィルコムの起動を自動化する場合は、システム値:QSTRUPPGM で設定されているプログラムの最終 <u>部分</u>に以下の行を追加してください。 CALL WILCOMMCHG/WILSTART

MONMSG CPF0000

WILSTART が WILCOMMCHG に存在していない場合は、<u>ライブラリー</u>WILCOMM にあるソースファイ ル WILSAMPLES のメンバーWILSTART をコンパイルして、<u>ライブラリー</u>WILCOMMCHG にプログラム を作成してください。

ウィルコム自動ス	タート・プログラム	ュ・コーディング・サンプル(WILST	ART)
	PGM		
	DCL	VAR(&ENROLLED) TYPE(*LGL)
	DCL	VAR(&UMSGQ) TYPE(*Cl	HAR) LEN(10)
	DCL	VAR(&UMSGQL) TYPE(*0	CHAR) LEN(10)
	DCL	VAR(&JOB) TYPE(*CHAR	.) LEN(10)
/*			*/
1	RTV10BΔ	10B(&10B)	1
/*	RIVJOBA	JOD((0JOD)	*/
1	CHGSYSI IF		1
	MONMSG	MSGID(CPE0000)	
	MONMSG	MSGID(CPF0000)	
	ADDLIBLE	LIB(WILCOMM)	
	MONMSG	MSGID(CPF0000)	
	ADDLIBLE	LIB(OTEMP)	
	MONMSG	MSGID(CPF0000)	
	CALL	PGM(WPDBCSIC)	
	CALL	PGM(WP36) PARM(&ENR	OLLED &UMSGQ &UMSGQL)
/*			*/
Γ	IF	COND(&ENROLLED) THEN	I(DO)
	SNDMSG	MSG('YOU ARE NOT EN	IROLLED IN WILCOMM !') +
		TOMSGQ(*SYSOPR)	
	GOTO	CMDLBL(RESET)	
	ENDDO		
/*			*/
	CALL	PGM(WP014CQSTR)	/*FOR QSTRUP */
/*******	**CALL	PGM(WP014CBSTR)	OTHER BATCH*/
/*			*/
RESET:	CHGSYSLIE	BL LIB(WILQ2962) OPTIO	N(*REMOVE)
	MONMSG	MSGID(CPF0000)	
	RMVLIBLE	LIB(WILCOMMD)	
	MONMSG	MSGID(CPF0000)	
	RMVLIBLE	LIB(WILCOMM)	

MONMSG MSGID(CPF0000)

/*

RETURN ENDPGM

スタートアップ・プログラムに上記の通りコーディングした CL プログラムを組み込んでウィルコムを起動した 場合は、メニューから 18 を実行する必要がなくなります。

上記例は、ウィルコムを日本語環境で使用する場合の例です。英語環境でご使用になる場合は、赤字 部分のライブラリー指定を「WILQ2938」に修正してからコンパイルしてください。

ホストの IPL 時に起動します「QSTRUP」プログラム内で実行することができます。その場合、ウィルコムは TCP/IPの各種機能が開始されていることが前提となりますので、「QSTRUP」プログラムの最終ステップに 組み込むようにしてください。

「QSTRUP」プログラム以外のバッチ・プログラムから呼び出す場合は、「WP014CQSTR」の部分を 「WP014CBSTR」に変更してプログラムを作成してください。「QSTRUP」プログラム以外のバッチ・プログ ラムとは、夜間のバックアップ・プログラム等でウィルコムを一旦停止した後、再度自動起動したいような場 合です。

<<QSTRUP で実行する際の注意点>>

PGM: WILSTART では、まず最初にプログラムの実行ユーザーのチェックが行われます。PGM: WILSTART を実行するユーザーが、ウィルコムに登録されたユーザーであるか否かがチェックされます。認可のないユーザーが実行している場合は、前ページの 部分のロジックが処理され、ウィルコムはスタートされずに PGM: WILSTART は終了してしまいます。QSTRUP における実行ユーザーは、「QPGMR」ですので、QSTRUP で PGM: WILSTART を実行する場合は、ウィルコムにユーザー「QPGMR」が登録されている必要があります。ウィルコムにユーザー「QPGMR」を登録したくない場合は、ウィルコムに既登録のユーザーを指定して QSTRUP から PGM: WILSTART をサブミットするようにしてください。(SBMJOB コマンドは、サブミットするジョブの実行ユーザーをパラメータで指定できます)ウィルコムのユーザー登録につきましては、「Lesson-3」を参照してください。

*/

起動状況の確認

アプリケーション・コントロール・メニューで

[19:モニター活動状況照会(SUBSYSTEM WILCOMM)]を実行します。



6					
■ セッション A - D	24 x 80]				
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ)	表示── 通信	(<u>C</u>) アウション(<u>A</u>) ሳሪኑንነው ላዞ	7°(<u>Н</u>)	
🖻 🖻 🖻 륝	🛼 🔛 🔳	🖬 ⊾	.	i 🔮 🤣	
	ታ	ブシステム	・ジョブの処理		S651B4CB
4-12-1-1-1-1-1		· 1077	00107	06/01/13	17:25:31
972A7A.		WII	7240000		
オプションを入力					
2= 変更 3=					示
8= スプール・					
00T 32/	⊸_#	はくや			
	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	PCM-ACTIVE I	NG
#VSN_8,03	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	PGM-ACTIVE F	INV
AKSBMC	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	PGM-AC08C	
DROPINS	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	CMD-WCPOLL	
DITEST	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	CMD-WCPOLL	
D2MAIL	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	CMD-WCPOLL	
D3PRINT	WILCOMM	BATCH	ACTIVE	CMD-WCPOLL	
D4FILE	WILCOMM	BATCH	AGTIVE	COUL-WCPOLL	<i>姐</i> 之
パラメーターはお	- HHHHHY K				876
\Rightarrow	-18 - 19)				
F3= 終了 F4=7	'⊅27'} F	75= 最新表示	そ F9=コマンドの	複写	
F11=スウジュール・デー					
M <u>A</u> a		英数 半角	j A		11/002
🕤 1902 - セッションが	正常に開始される	乱た			1

ウィルコムのすべてのジョブは、サブシステム:WILCOMM配下で起動しています。 お客様のウィルコム環境によってジョブ表示内容は異なります。

2.ホストのウィルコム停止方法

アプリケーション・コントロール・メニューで、[20:モニター停止(SUBSYSTEM WILCOMM)] を 実行します。



オプション = *NORMAL、遅延時間 = *DEFAULT で実行してください。
³¹ セッション A - [24 x 80]
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アウション(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
WILCOMM サブシステム停止 (WCSHTDWN)
選択項目を入力して,実行キーを押してください。
#7 Vav
産処時間
et n
F24= キーの続き
MA a 英数半角 A 05/037
💬 1902 - セッションが正常に開始されました

OPTION=*NORMAL は、その時点で処理中のジョブが正常終了するのをチェックしながら停止処理を 行います。

ホストのバックアップや IPL 時等にウィルコムを自動停止する場合は、以下の点に注意してください。

1.バックアップや IPL の時間はウィルコムを使用していない時間帯を選んでください。 2.ウィルコムを自動停止する場合は、以下のコマンドを実行してください。

CALL WILCOMMCHG/WILQUIT MONMSG CPF0000

WILQUIT が WILCOMMCHG に存在していない場合は、<u>ライブラリー</u>WILCOMM にあるソースファイル WILSAMPLES のメンバーWILQUIT をコンパイルして、<u>ライブラリー</u>WILCOMMCHG にプログラムを作 成してください。

※コンパイルする際は、ライブラリーリストにライブラリーWILCOMM を追加してください。

ウィルコムは午前0時に不要データを削除するパージ処理が自動的に起動します。この処理が実行中に <u>PWRDWNSYS</u>が実行されることは好ましくありません。最悪の場合データベースの損傷に至る場合が あります。またパージ処理にかかる時間はお客様のデータ量・マシン性能等によって異なりますので、午前 0時頃に PWRDWNSYS を実行される場合は、<u>午前0時前</u>にプログラム(WILQUIT)を実行してウ ィルコムを停止しておいていただくか、次のページに書かれている方法で、パージ処理を実行する時刻を午 前0時以降に変更してください。

ウィルコム・パージ処理の遅延方法

何らかの理由で午前0時に起動するパージ処理を遅延させる必要がある場合は、コマンドラインから以下のコマンドを実行してください。

 CRTDTAARA DTAARA(WILCOMMCHG/WPPRGTAB) TYPE(*CHAR) LEN(80)

 VALUE('DLYJOB RSMTIME(999999)
 ')

RSMTIME の値はパージ処理を実行する時間を設定してください。例えば 120000 とするとウィルコムの パージ処理は午後 12 時に起動するようになります。 ウィルコムのパージ処理は午前 0 時の実行時にこ のデータエリアを参照して、そこに設定されている値のコマンドを先に実行します。

(注) ウィルコムが新規インストールされた時点では、データエリア: WILCOMMCHG / WPPRGTAB は存在していません。以下の要領でデータエリアを作成してください。
 CRTDTAARA DTAARA(WILCOMMCHG/WPPRGTAB) TYPE(*CHAR) LEN(80)

ウィルコム自動終了・プログラム・コーディング・サンプル (WILQUIT)	
PGM	
DCL VAR(&ENROLLED) TYPE(*LGL)	
DCL VAR(&UMSGQ) TYPE(*CHAR) LEN(10)	
DCL VAR(&UMSGQL) TYPE(*CHAR) LEN(10)	
DCL VAR(&JOB) TYPE(*CHAR) LEN(10)	
/*	*/
RTVJOBA JOB(&JOB)	
/*	*/
CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
ADDLIBLE LIB(WILCOMMD)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
ADDLIBLE LIB(WILCOMM)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
ADDLIBLE LIB(QTEMP)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
CALL PGM(WPDBCSIC)	
CALL PGM(WP36) PARM(&ENROLLED &UM	SGQ
&UMSGQL)	
/*	*/
IF COND(&ENROLLED) THEN(DO)	
SNDMSG MSG('YOU ARE NOT ENROLLED IN WILCOMM !') +	
TOMSGQ(*SYSOPR)	
GOTO CMDLBL(RESET)	
ENDDO	
/*	*/
WCSHTDWN TYPE(*NORMAL)	
/*	*/
RESET: CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962) OPTION(*REMOVE)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
RMVLIBLE LIB(WILCOMMD)	
MONMSG MSGID(CPF0000)	
RMVLIBLE LIB(WILCOMM)	

		MONMSG	MSGID(CPF0000)	
/:	k			*/
		RETURN		
		ENDPGM		

上記の通りコーディングした CL プログラムを組み込んでウィルコムを終了した場合は、メニューから「20: モニター停止」を実行する必要がなくなります。上記例は、ウィルコムを日本語環境で使用する場合の例 です。英語環境でご使用になる場合は、赤字部分のライブラリー指定を「WILQ2938」に修正してからコ ンパイルしてください。

WCSHTDWN は、ウィルコムのコマンドです。従いまして、コンパイルする際にはライブラリー・リストにライブ ラリー:WILCOMM を追加してください。

<<実行時の注意>>

PGM: WILQUIT では、まず最初にプログラムの実行ユーザーのチェックが行われます。PGM: WILQUIT を実行するユーザーが、ウィルコムに登録されたユーザーであるか否かがチェックされます。認可のないユーザーが実行している場合は、前ページの 部分のロジックが処理され、ウィルコムは停止されずに PGM: WILQUIT は終了してしまいます。実行ユーザーをウィルコムに登録するか、或いは既登録ユーザーで実行するようにしてください。

ウィルコムのユーザー登録につきましては、「Lesson-3」を参照してください。

3.PC Server のウィルコム起動と停止

PC Server のウィルコムを起動する前にネットワーク・ドライブが接続されていることを確認してください。 このネットワーク・ドライブは、ホストの /WILKINSON/SI フォルダー(共有名:wilkinson)に接続さ れています。ドライブ名(ここでの例は I ドライブ)は、WilComm Config での設定によって決まってお ります。ドライブ名が不明な場合は、以下の要領で WilComm Config を起動して確認してください。



ツールバーの「表示」→「ピックアップグループ」を選択します。

ピックアップグループとは・・・

PC 側のウィルコム・モジュールが、何処のフォルダーから処理対象データを受け取るかを指定する定義です。 ホスト側で処理されたスプールデータを、何処から受け取るかを定義します。

	ウィルコム コンフィク゛レーション - [ピックアップ グループ]
☑ 77/h(E) 編集(E) 表示(⊻) 9-h(工) ヘh7*(出)	
名前 トランサウシュン ファイル ピックアップ・テ_ ファイル名 トランサウシュン ファイル タイプ・ フィードバックを_	
AS400 £ *DMO Addressing Parameters + Spool File Attr Yes AS400 104 MAIL H: *LNA Addressing Parameters + Spool File Attr Yes	
AS400-103 J: *DMO Addressing Parameters + Spool File Attr Yes	
AS400-104 H: *DMU Addressing Parameters + Spool File Attr Yes DATA C:*DATA ** Addressing Parameters + Spool File Attr Yes	
Parker C#Users#Administrator#Des ** Addressing Parameters + Spool File Attr No	
WilComm Direct C#Ipcni Files (x86)¥Pent. ** Addressing Parameters + Spool File Attr No	

ホストからのデータ・ピックアップ定義をダブルクリックします。

「ピックアップ オプション」タブ

ビッグアップ・グループ: AS400 ロー加作業ディレクトリー: AS400 ビ・フグアップ・オブ・ション 言語 送信法付信報 送信結果 ウィルノ・ティファイセッティッグ・ ファイルの取り出し レ レ レ レ レ レ ファイルの取り出し レ <td< th=""><th>C</th><th>ピックアップ グループ編集</th><th>x</th></td<>	C	ピックアップ グループ編集	x
	ピックアッフ [。] ゲルーフ [、] ローカル作業ディレクトリー:	AS400	
OK(0) \$+e')#b(C)	 ヒ[*] ックアッフ[*] オフ[*] ソョン - ファイルの取り出し ビ [*] ックアッフ [*] ディルクトリー: ファイル毛: ファイル形式: 参照: 読込みアフ [*] リケーション:	言語 送信添付情報 送信結果 フィルノーティファイセッティング ▶	

PC Server の WilComm は、ホストからのデータを上記ドライブから受け取ります。 ここでのドライブ名とネットワーク・ドライブ名は一致している必要があります。

「言語」	タブ
------	----

C		Ľ°ሣクアッフ° グル−フ°	編集		x
ビックアッフ° クルーフ°: ローカル作業ディレクトリー:	AS400 AS400				
L°>9797°47°933		送信添付情報	送信結果	ว่าW/~ティファイセッティング	_
-ビックアッフ ウォルダー言語情	青幸辰				
 デウォルト言語 ファイルのエクステンションの 	< <default languag<br="">の言語タイプコートを比較します</default>	se>>		•	
<u>OK(Q)</u>	++>tul(<u>C</u>)				

「送信添付情報」タ	ブ				
C		Ľ°୬クアッフ° グル−フ°ቶ	扁集		x
ピックアッフ° クኈレーフ९	AS400				
ローカル作業ディレクトリー:	AS400				
した。 た。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	言語	送信添付情報	送信結果)+1L/-7+72fty7+y2*	
ーホストからメールに活 ビックアッフ [。] ディレク	絵付されるファイル ŀソー: [I¥ATTACH	Н			
OK(<u>O</u>)	++>tul(0)				

「送信結果」タブ

C		ዸ° ୬⁄ንア୬フ° ⁄ኑʹル−フ	°編集		x
ピックアッフ [®]	AS400 AS400				
L°ックアッフ°オ7°୬ョン	音語	送信添付情報	送信結果	J+11-7+77472974974997	
ホストへ返す実行結果 ↓ 以下のデルクリーへ。 ファイル拡張子:	実行結果のファイルを作成 [I¥RESULTS DMO				
OK(<u>0</u>)	キャンセル(C)				

「ウィルノーティファイ セッティング」タブ

C		ዸ°ፇクアッフ° グル	ープ編集			x
ピックアッフ° ታንル−フ°:	AS400]		
ローカル作業ディルクトリー:	AS400					
t°>/77>7°47°¥a>	言語	送信添付情報	送信結果		Ĵ142~7+777(to77+7)*	
	《ールの通知					
ウィルフ ^ッ ント ○ 失敗のみ	○ すべて ⊙ 無し	WilMail:	○ 失敗のみ ○	すべて	@ 無し	
ウィルファックス 〇 失敗のみ	○ すべて ⊙ 無し	WilFile:	○ 失敗のみ ○	すべて	◎ 無し	
- Eメール通知用 Eメール アトル Eメール アトルスの解決方法:	/ス	瘍されたEメール アト・レス	~送信		▼]	
OK(<u>O</u>)	キャンセル(<u>C</u>)					

Windows 環境から ホストの共有フォルダーをネットワーク・ドライブとして割当てるためには、ホスト のオペレーティングシステムが提供するネットサーバーサービスを使用いたします。(*ネットサーバーにつ いてはオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。)

(ネットワーク・ドライブが接続されない場合)

ホストのコマンド: <u>STRTCPSVR SERVER(*NETSVR)</u>によりネットサーバーを起動します。 <u>それでも接続されない場合は、ホストのネットワーク設定が正しくないか、ホストの障害などが考えられ</u> ますので、IBM もしくは IBM 特約店にご相談ください。

ネットサーバーは、ホスト上のフォルダーを共有フォルダーとして Windows ネットワークに対して公開する サービスです。

PC Server のウィルコム起動方法

Comparison of the second secon

以下、ご購入いただきましたライセンスの中からご使用になりたいサービスを起動します。

デスクトップにある WilComm フォルダーを開き、WilFax 🔯 を起動します。

FX	Wi	IFax MSFax [WilFax Service A]	_ D X
ファイル(<u>E)</u> ツール(<u>T</u>) ヘルプ(<u>H</u>)			
Tue 24-09-2019 05:28:42 WilFax star Tue 24-09-2019 05:28:42 Using provi Tue 24-09-2019 05:28:42 Using WilCo Tue 24-09-2019 05:28:42 Checking if	ed. Jer "Provider=SQLOLEDB:Integrated Secu mm TIFF Conversion Software. there are any abnormally interrupted fax	rity=SSPEinitial Catalog=WilComm;Data Source=(local)¥WILCOMM' jobs.	
<	Ш		>

デスクトップにある WilComm フォルダーを開き、WilPrint を起動します。

ታብ⊮ጋ∆ 7° ሀንՒ [WilP	Print Service A]	_ 🗆 X
A] started. SQLOLEDBIntegrated Security=SSPIInitial Catalo	sg=WilComm:Data Source=(local)¥WILCOMM	
		>
	୨ィル그십 7° リント [Wilf A] started SOLOLEOEIntegrated Security≕SSPLInitial Catal	ウィルコム プリント [WilPrint Service A] A] started. SOLOLEDBIntegrated Security=SSPLInitial Catalog=WilCommCData Source=(local)¥WILCOMM

デスクトップにある WilComm フォルダーを開き、WilFile 💴 を起動します。

FX	W	ilFax MSFax [Wi	/ilFax Service A]		_	x
7711/(<u>E)</u> ୬−1/(<u>T</u>) ^1/7°(<u>H</u>)						
Tue 24-09-2019 05:28:42 WilFax st. Tue 24-09-2019 05:28:42 Using pro Tue 24-09-2019 05:28:42 Using Wil	arted. vider 'Provider=SQLOLEDB;Integrated Sec Comm TIFF Conversion Software.	urity=SSPI:Initial Catal	llog=WilComm;Data Source=	(local)¥WILCOMM'		
Tue 24-09-2019 05:28:42 Checking	if there are any abnormally interrupted fa	x jobs.				
<	Ш					>

WilComm 起動用のバッチファイルが提供されており、デスクトップに WilComm Start というショートカットがございますので、このショートカットを実行する事で、利用する WilComm アプリケーションをまとめて起動させる事ができます。

バッチファイルの内容は以下のようになっています。

※WilComm Start のショートカットを右クリックして編集を選択しますと、バッチの内容が表示されます。

- Net use コマンドで、IBM i の WilComm 用共有フォルダー(/WILKINSON/SI)をネットワーク ドライブ(I:)にマップします。
 ※必要に応じて、ドライブ名や、IBM i の IP アドレスを変更してください。
 Net use I: ¥¥192.168.0.1¥WILKINSON WILCOMM /user:192.168.0.1¥WILCOMM /persistent:no
- Start コマンドで、WilCommのアプリケーションを起動しています。
 ※使用しない機能については、行の先頭に rem を挿入して、コメントとしてください。

ウィルコムの起動を自動化したい場合、デスクトップにある WilComm Start のショートカットを Windows のスタートアップフォルダーへコピーして頂くか、以下のフォルダーにある WilComm Start.bat をタスクに登録してください。

C: ¥Program Files (x86) ¥Pentana Solutions ¥DocuSmart Suite ¥Bin

※スタートアップフォルダーは、以下の手順で直接開く事ができます。

- 1. 画面左下のスタートボタンを右クリックして「ファイル名を指定して実行」を選択
- 2. 名前の欄に shell:startup と入力して OK ボタンをクリックします。

PC Server のウィルコム停止方法

WilComm Server / WilMail / WilFax /WilPrint / WilFax どのサービスもウィンドウ右上の「×ボ タン」で終了します。

	_ 🗆 X
MILCOMM'	
	>

或いは、タスクバーで右クリック→「閉じる」を選択してください。

